



君もなれるか！？

レンジャー修行 in 須ノ川

1. 概要

- ◆実施日時：平成30年2月24日（土）9：00～12：30
- ◆場 所：愛媛県南宇和郡愛南町須ノ川 須ノ川公園
- ◆主 催：環境省土佐清水自然保護官事務所
- ◆講 師：橋越 清一（愛媛植物研究会）
- ◆参 加 者：5名（募集定員20名）
- ◆天 候：晴れ
- ◆内 容：須ノ川公園をレンジャー気分で楽しむ
 - ・テント設営や火起こしで、アウトドアスキルを身につける
 - ・地図を使ったゲーム形式の須ノ川公園めぐりで、自然や文化について知る

2. 実施風景

(1) はじめに

晴天無風の須ノ川で、ピクニックに最高の日和を裏切るように開催されたのは、な、なんと「修行」！

集まった 5 名 2 家族がチャレンジするのは『レンジャー修行』です。

自己紹介とあいさつが終わったら、早速今回のイベントの目的を確認します。

イベントのタイトルでもある「レンジャー」は、自然を守りながら、活かすお仕事。外での活動も多く、体力やアウトドアスキルに加えて重要なのが、物事を見る『目』！

というわけで、今回の目標は、

- ①レンジャーとして、身につけておきたいスキルをつける
 - ②今までにない目線でものを見られる『目』を養う
 - ③①②から、須ノ川の楽しさ、面白さに気づく
- この3点です！



(2) テントたて競争！&火おこしチャレンジ

ここからは、それぞれのファミリーでチームになってもらい、得点を競う対抗戦で進みます。

まずは、身につけておきたいアウトドアスキル「テント設営」と「火おこし」。

テントたては、片方のチームが全く同じテントを持っていたため、ものの 10 分で設営完了。僅差で、もう一方も設営し、どちらも好タイムでした。

しかし、火おこしはみんな初めて！

道具の難易度を徐々に下げていきながら、火がつけられれば得点ゲット。

まずは、難易度「激難」の火打石で火おこしチャレンジ。

石は、須ノ川公園の近くにある由良半島の「火打（ひうち）」という地区から持ってきた本物の火打石。石同士をぶつけたり、金やすりで打ってみたり・・・火花は散りますが、火がつく気配はありません。

早々に難易度を下げ「難」のマイギリ。昔の火おこし体験などでよく使われる道具です。リズム感と持久力、根気が試されました。

そして！ 30 分近い挑戦の末、見事 BBQ セットで火おこしに成功！マッチやライターを使わずに起こした火で焼いたマッシュマロは格別でした。

(3) レンジャー修行

続いて行うのは、公園全体を歩きまわる「自然観察」。

1 チームが地図を見ながら公園内のチェックポイントを回り、その間もう 1 チームは講師のはしごえハカセに野鳥観察や植物観察の極意を教えます。

使うのは下の「修行目録」です。

テント&火起こしゾーン 9:30-10:30

テント早立て競争
 どちらのチームが、より早くテントを立てられるかな？
 結果： 山チーム ・ 谷チーム

火おこしチャレンジ
 「火打」の火打ち石で、火がおこせるかな？（他の道具でも OK）
 結果： おこせた！ ・ おこせなかった

君もなれるか！？レンジャー修行 in 須ノ川

しゅぎょうもくろく いちらん

修行目録 一覧

三つ葉のヒトツバをさがそう！
 ヒトツバを教えてもらったら、できるだけたくさん分裂した葉っぱの証拠写真を撮ろう！
 たくさん分裂している方の勝ち！
 結果： 分裂

冬顔の顔をさがそう！
 冬の植物には実は顔があるよ。特に冬芽は変顔代表。証拠写真が何枚とれるかな？
 おまけのおそろい変顔写真か
 へんてこポーズ写真で、ボーナス得点！

例

結果： 枚

地図にヒントあり
 写真をとるべし

葉っぱの観をさがそう！
 手札の葉をよ〜く見て、みつけた！
 元の樹をさがせ！ わからない

カタバミで『すもう』！
 つよそうな力士をさがすべし！
 結果： 山チーム ・ 谷チーム

オニヒトデをさがそう！
 実は須ノ川のすぐ近くまで迫ってきているオニヒトデ。その標本が、海の近くのどこかに隠れているぞ！
 見つけれられるかな？
 結果： 見つけた
 見つけれなかった

弁天さんをさがそう！
 須ノ川の神様？！
 弁天さんのお社跡をさがし出して、正面から証拠写真を撮れ！
 結果： 見つけた ・ 見つけれなかった

ヒントなどが書き込まれたマップと一緒に使います。

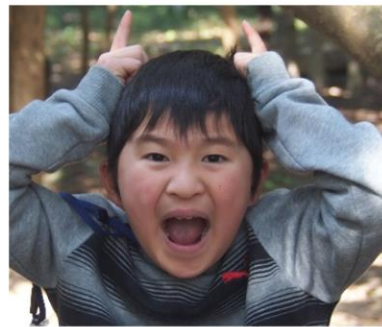


チェックポイントは、須ノ川や愛南町の自然について知ってもらう内容です。

例えば、マップのヒントをもとに歩いていると、オニヒトデの標本が出現！

なかなか普段見かけることはない生き物ですが、サンゴを食べるこのオニヒトデ、実は、須ノ川からほど近い「塩子島」という場所で大量発生しているんです！シュノーケリングスポットの須ノ川もその脅威にさらされていますが、地元のダイバーさんたちが懸命に駆除していることを知ってもらえました。

「大きい」「とげとげで痛そう」というリアルな感想も、本物に触れたからこそ。



他にも、冬の顔探しと題して、植物の顔や面白ポーズを探してもらいました。

こちらは、おとなも子どもも甲乙つけがたい発想で、次々点を稼ぐボーナス問題になりました。



はしごえハカセは、双眼鏡や望遠鏡の使い方から始まり、冬鳥の観察ポイントである色や動き方、大きさの違いについて教えてくれました。

生態についても、泳ぎが得意な鳥、羽の撥水力の違いなど、豆知識が盛りだくさん。

さらに、植物や昆虫（特にチョウチョ）にも詳しいハカセ。目についた木のことを教えてくれます。

その中でも、ツバキの若葉を使った笛吹きは、難易度が高め！めげずに挑戦し、ようやく「プ」と音が出せると、充実感があります。これぞレンジャー修行！



遠くを見るときによく使う双眼鏡。

これを逆さにしてルーペ代わりに使うという、目から鱗の用途も教えてもらい、応用して葉っぱの星探し（グミの葉の星状毛）も行いました。

(写真：まさに地上の星！？グミの星状毛^{せいじょうもう})

全体を通して、現時点でのチームポイント差は2点。
勝敗の行方を決めるのは・・・

『大相撲 須ノ川場所』！

カタバミの軸（維管束）を使って、3人1組での対抗
星取り合戦です。

先鋒、中堅と続いて、結果は1ポイントずつ。
勝負を面白くするために、大将戦は2ポイント。

はっけよーい・・・のこったのこった！

結果、3ポイント差がつき、勝ち越しとなりました。

全体を通して、時間配分やポイントの稼ぎどころを戦略的に考えたりしていて、それぞれポイント
を稼いだフィールドが違っていながら、僅差の良い勝負になっていたのが印象的でした。

3. 参加者のこえ

すべてのプログラムを終えての感想をいただきました。星5つを最高として評価もしてもらいましたが、5名全員が星5つ！しかし、時間が短すぎるという意見や、人がもっと多い方が良い、という声もありました。

・たのしかったです。

（小学校5年生）

・お天気も良く、とても気持ち良かったです。自然の中で鳥や植物のことなども学べ、いい体験となりました。子どもたちにも、もっと自然に興味を持って欲しいと思います。

（40代 女性）

4. まとめ

夏はシュノーケリングやキャンプで賑わう須ノ川公園には、冬ならではの楽しみがありました。

小鳥が群れになって樹間を飛び回り、数えるだけでも20種類以上のさえずりが聞こえてきます。

海水池と淡水池には、暖かい場所を求めて冬鳥が集まり、のんびりとひなたぼっこをしながらスコープで観察するのに最適です。

普段目を引く色とりどりの花の代わりに、常緑樹の葉や落葉樹の冬芽、道ばたの植物に目を向けてみると、面白い顔や楽しい昔遊びが見えてきます。

右下の写真は、参加者の男の子がイベント中に何気なく見つけたもの。枝に擬態したガの仲間のようなです。今回のイベントでは、普段視界に入っているものにも興味を持っていない物に、焦点を当ててみることで、世界がもっと面白くなることを感じてもらったのではないのでしょうか。

